



We Serve

紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

地区ニュース

1991 ~ 92 No. 3 1991 年 11 月 30 日発行



友情の絆で広げる まごころ奉仕

目次

● LCIFにご協力を	L. 吉田 政勝	1
● 千葉幕張メッセLC誕生	L. 北村 泰彦(千葉LC)	2
● 千葉県の現状と将来	L. 村上 睦郎	4
● リジョンの頁(2R)	L. 山内 豊彦 L. 桜井 留治	8
2R 12Cの合同ACTについて	L. 鈴木 行正(船橋京葉LC)	
盲導犬とアイマスクの異色パレード	船橋LC	
国際親善軟式野球	船橋中央LC	
1日市長原田ゆかりさんを囲んで	鎌ヶ谷LC	
船橋ポートLCの生い立ち	L. 小石 税(船橋ポートLC)	
第2回アイバンクキャンペーン	船橋ポートLC	
心身障害児招待いもほり大会	八千代LC	
女性会員を迎えて	八千代東LC	
女性会員手記	安宅 一枝 田村 智子(八千代東LC)	
● 活躍するライオンズ		14
柏市内5クラブ	L. 鈴木 稔(柏中央LC)	
我孫子LC 千葉LC 四街道LC 千葉京葉LC 銚子LC		
東庄LC 大栄LC 栗源LC 旭LC 君津LC		
● ライオネスクラブ特集		21
ライオネスプログラム通信	L. 村田 増雄(千葉京葉LC)	
船橋中央LSC 市原南LSC 千葉京葉LSC 君津LSC		
館山LSC		
● クラブ運営に積極参加を	L. 高品 和夫(市原南LC)	24
● 実践的会報づくりの話	L. 石川 忠正(千葉エコーLC)	24
● 台湾(的)詩人との交流	L. 高橋 惣司(東庄LC)	27
● 車について	L. 桜井 留治(船橋京葉LC)	29
● 老いの手	L. 佐藤 みきのぶ(習志野LC)	29
● YE生手記		30
● 編集後記	L. 蒔田 辰男	35

表紙のこと

表紙の絵について

季節にふさわしい菊の絵はL. 山川 龍(習志野LC)の作品です。
紫陽という文字はL. 田野憲有(習志野LC)の書です。

LCIF にご協力を

地区ガバナー L. 吉田 政 勝

LCIFについては既によくご承知の通りであります但簡単に説明させていただきます。

LCIFは、LC、地区、又は個人から寄せられた献金を備蓄、財団の援助資金としてその基金を運用して、大災害や緊急事態の救済、その他全世界的に人類の福祉に、世界中のLC会員を代表して、ライオニズムの伝統の下に奉仕、援助活動がなされております。

LCIFの援助資金は、次の3分野において長期的な援助活動が実施されております。

1. 災害援助資金
2. 職業技術指導計画援助資金
3. 人道主義的奉仕活動援助資金

LCIFへの寄付は10ドルの献金会員。100ドルの芳名録。1,000ドルのメルビン・ジョーンズ・フェロー(以下MJFと略す)に分かれております。

なかでもMJFは1,000ドルから最高41,000ドル迄41段階あって、寄付する毎に、MJFラベルピン金又は白銀に、ダイヤ又はサファイヤが加えられます。

1年で何口でも結構です。又多額寄付として10,000ドル、25,000ドル、50,000ドル、100,000ドル、遺産贈与が出来、各々表彰されます。

昨年度333-C地区ではMJFは227人。LCIF全体で、4,000万円弱の献金がありました。

今年度(来年)は、ライオンズ国際協会が発足してから75周年。この75周年を記念してMJFも75,000人を目標としております。(現在其の60%を達成)昨年度を上廻るMJFを創り出そうご協力をお願いいたします。

一度1,000ドル献金をするとMJFの名前がついて、名簿等にもMJFと記録され、会員紹介の時にもMJFである旨、紹介される様指導されております。クラブ員全員がMJFとなると100% MJFクラブとして国際大会で表彰されます。今年の6月オーストラリアのブリスベンに於ける国際大会で100% MJFクラブ12が表彰されました。その内訳は日本8、香港3、アメリカ1でした。



333-C地区は勿論、複合地区でも未だ0ですが、どのLCが一番最初に100%MJFクラブになるか興味をもっております。

1回だけでも1,000ドル献金をしてMJFになって下さい。

その献金は無駄になる事なく、いつかはどこかで災害援助をはじめ恵まれない人々のために愛の手として役立つ事があるであります。

そんなすばらしいACTの1つだと思っております。

千葉幕張メッセLC誕生！

地区運営特別委員長 L. 北村 泰彦 (千葉LC)



吉田CABの首途に花を沿えるように、ガバナー出身地に隣接する幕張——今や、21世紀を象徴するテクノロジーとニューメディアの交流ステージとして日々変貌を加えているこの地域——にその名もズバリの新クラブ誕生！

SPクラブ千葉LCが、その発足の翌年1964年市原LCを嚆矢としてたてつづけに千葉中央LC、東金LC、四街道LCをEXT. して以来の絶えて久しい小作りである。

クラブEXT. は、親クラブの凝結したエネルギーを一気呵成に注入することが鉄則で、先ずは母体のクラブライフが健やかであること……この読みに於いて、ドクター第1副会長L霜の適確な診断があった。それは昨年秋も深い頃であったと思う。

新クラブを創るとなると、改めて「心携」を繙き、「研修会資料」を遂行追うことにもなり、委員会も回を重ね、初心に戻ってLCを見つめ直したメンバーも多い。

全都道府県中で47位、又全県庁所在都市でも47位、即ちライオンズ人口最過疎地であることは、それだけエリート度が高いと弁解すべきか、ライオンズ後進地とみるべきか議論があるとしても、少なくとも、世間並みにはこれからもEXT. の余裕は充分の土地柄なのである。この政令指定都市に少なくとも10クラブを考える立場から、今回の新クラブ誕生は、まさに魁の烽火として高く評価されるものと自負したい。

この意味で、私達の新クラブに対する愛着は格別で、この地域にふさわしいハイグレードのキャラクターを希ったことは、式典のなかでEXT. 委員長L. 岡野の坦々とした「設立経過報告」に滲み出ていて感銘

に堪えない。新クラブ会長L. 臼井日出男は私達の第20代、臼井一世会長の令弟、第1副会長L. 石橋凱男は元千葉LC後に千葉中央LCに転籍後地区ガバナーに就任したL. 石橋光の令息、そして幹事も第15代佐瀬喜一会長の令息、更に会計はSP. C. L. 岡野正義〜新クラブ、L. 戸村文夫は千葉興業銀行副頭取〜常務取締役の間柄……これほどに縁の濃い親子関係を軸として、選りすぐりの友人知己を送り、結成前日に39名に達した。

10月17日午後4時、文字通り全国を単身東奔西走される国際協会堀越恒男駐在員を迎えて式典に先立つ結成会——これは新クラブが公式に国際代表からうけるLCの洗礼——はほぼ1時間、常設の結婚式場で行われた。加盟申請書署名、結成手続終了確認書の授与等ガバナーを加えてのセレモニーは、新会員へのラベルボタン贈呈と共に、午後6時開会の式典のメインイベントに移して行われた。

難壇の演出を好まないSP. Cの慣例から、今回も来賓を含めて全員平土間の、亀甲型の配列中央のオープンスペースが、ガバナー直々の襟章付けと氏名紹介の場となり、これだけは充分時間をとりたいとする駐在員の打合せを实らせた。中央ステージは駐在員を介してガバナーと会長幹事の署名セレモニーの他は挨拶者用だけの敢えて小ぶりに拵らえたスペースである。参会者が格段に多くなるチャーターナイト盛儀をより印象深くさせたいSP. Cの親心としてご理解されたい処である。

午後7時30分祝宴開会。ここで司会席に新クラブ幹事が初登場。プログラムは快調に進行、宴も酣の頃、テールツイスタータイムとなる。

新クラブT. Tのお披露目は、型の通り、SP. CのT・T, L. 清水により、「私が勝手にゴルフの師と仰ぐ副T・T L. 青柳、そして……」と新T・T, L. 鈴木日出夫、L. 阿佐幸雄の紹介、重ねて末たのもししい新人の片鱗を垣間見せる自己紹介が続く。——出足は快調、但し、SP・C近年の飼い馴らされたドネーション據出スタイルにはフォローし兼ねるとも思えば、新クラブはT・Tのキャラクターによって独自の道を創出すべし。クラブライフには遊び心が欠かせない。知性とユーモアを失って、シャカリキに奉仕活動というのも面白くない。この辺りが、T・Tの例会でのクラブカラーそのものへの貢献度が大きい所似であろう。

昔は若気の到りでEXTした新クラブが、親クラブのパターンを金科玉条とされることに無策であったが、この時代LCの基本理念を失わない限り、老クラブとは又一味違う澆刺とした持味を、この初々しいクラブが持って貰いたい。

研修会資料のなかで「T・Tの目標の第1項にある“ドネーションの努力目標の設定”は、誤解されるおそれもあるので、見直すか、削除すべしと思うのが如何。“親睦の木に奉仕の花が咲く”ライオニズムの水遣りの度を超すと根腐れを誘って開花を遅らせよう。

終りに本職とはいえ、この式典にピアノの生演奏でムードを盛りあげたSP. CL. 大原保人、巨軀も目減りほどに汗闘した幹事L. 綿引正直他、EXT委員各位、事務局石井女史の皆さんほんとうにご苦労さまと申し上げたい。(於幕張プリンスホテル 17, Oct '91)

千葉県の実状と将来

千葉県議會議員 自民党千葉県連

幹事長 L. 村上 睦 郎 (習志野LC)



本県は、首都圏にあって51万ヘクタールに及ぶ広大な県土を有し、海や川に囲まれ、温暖な気候と緑あふれる豊かな自然をもち合わせています。人口は現在約561万人で全国第7位、産業の全国に占める位置を見ると、農業粗生産額は第3位、漁業漁獲量は第9位、工業出荷額は第8位、商品販売額は12位であり、バランスのとれた県です。また、県土面積の33%が森林、29%が農地、38%が都市的利用となっており、土地利用もバランスがとれています。

国の第四次全国総合開発計画では、東京一極集中の是正と「多極分散型国土の形成」が基本目標に掲げられ、首都機能の分担やリゾート地域の整備など、首都圏において本県に期待される役割が明らかにされています。

特に、首都圏の地域構造の再編のため、千葉、木更津、成田の業務核都市等の整備及び環状方向における複合的な機能を有する軸状新市街地の開発が位置付けられています。

さらに、本県の新しい地域構造を形成するにあたり最も重要な基幹交通体系については東京湾横断道路、首都圏中央連絡自動車道等が示されているほか、東京湾口部を含む東京湾広域幹線道路網の構想の検討が位置付けられています。

このような中で、本県では、千葉新産業三角構想の進展や東京湾横断道路を始めとする国土幹線交通網の整備などによる発展可能性の高まりや、人口動態の変化、価値観の多様化等による県民生活の変化、国際化、経済のソフト化・サービス化等の社会・経済構造の変化など諸状況の変化に対応し、平成2年12月に平成7年度を計画の目標年度とする「さわやかハートちば5か年計画」が策定されています。この計画は、県の長期ビジョンである「2000年の千葉県」に基づく第二期の総合5か年計画であり、「2000年の千葉県」の理念である“活力と希望に満ち均衡のとれたふるさと千葉をつくる”の具体化を図る計画です。

新しい5か年計画には、福祉・医療・教育・文化・環境などの分野の施策は勿論、産業振興施策や交通ネットワークなどの県土基盤の整備等広範囲にわたる施策が盛り込まれていますが、ここでは特に本県の地域構造の変革に大きな意味を有するものを中心に紹介します。

1. 業務核都市等の整備

首都圏の多核多圏域型地域構造への再編をリードし、戦略的な拠点となる千葉地域、木更津地域、成田地

域及び東133飾北部地域を業務核都市等として位置付け、その育成整備を図ることとされています。

(1) 千葉業務核都市の整備

臨海部としての位置特性、成田空港への近接を活かし、東京都心部からの諸機能の分散の受け皿として期待されています。このため、千葉業務核都市基本構想に基づき、世界に開かれた国際的業務核都市を目指して、幕張新都心地区、千葉都心地区を中心に、高次の諸機能の集積を図ることとされています。

(2) 木更津業務核都市の整備

東京湾横断道路等の建設により東京湾臨海部の要となる都市として、また、かずさアカデミアパーク構想の推進による研究開発機能の集積が見込まれることから、人・もの・情報の国際的交流空間として、創造的環境を醸成し、自然と都市サービスを楽しむことができるアメニティのある業務核都市としての整備が行われます。

(3) 成田業務核都市の整備

成田空港の立地を最大限に活かし、交通・情報通信両面で世界と直接結び付き、国内外から多様な人々が集い、国際的ビジネスなどが可能となる世界に直結した業務核都市としての整備が行われます。

(4) 東133飾北部地域における核都市の整備

首都圏新都市鉄道（常磐新線）や東京 11・8 号線（地下鉄）等の整備計画により発展可能性が高まり首都圏の地域構造の再編をリードする位置特性を活かし、事務所機能や高次サービス機能を積極的に導入できるよう核都市としての整備が行われます。

2. 千葉新産業三角構想

本構想は、千葉県の内陸部へ幅広く先端技術産業を導入し、工業構造の高度化と均衡のとれた地域構造の実現を目標として昭和 58 年 6 月に策定されたものです。先端技術産業は、高度な知識集約・技術集約の産業であり、国際経済とも密接な関わりを有しており、その立地には「学術・教育機能」「研究開発機能」「国際的物流機能」が特に重要なことから、これを基礎条件と位置付けて整備を行うものです。この三つの機能を、新しい幹線道路体系によって三角形に結ばれることとなる核都市の千葉市、木更津市、成田市の地域を中心に集積を図ることとし、「幕張新都心構想」「かずさアカデミアパーク構想」「成田国際空港都市構想」を基幹プロジェクトとして推進されることとなっています。

これらのプロジェクトの推進と関連施策の展開により、これら拠点を結ぶ地域をはじめさらに広い地域へと新しい産業立地の可能性と就業機会を広げ、幅広い波及効果が期待されています。

(1) 幕張新都心構想

幕張新都心は、東京都心と成田空港の中間に位置し、それぞれ時間距離が 30 分という絶好の立地条件を有した日本でも最大規模の新都心開発事業です。また、豊かなレクリエーションの場づくりを併せ持ちながら、学術教育機能、業務研究機能、商業機能、居住機能など高度な都心機能を備えた 21 世紀にふさわしい未来型国際都市の形成を目指すものです。既に、新都心の中核をなす本格的総合コンベンションセンターの『幕張メッセ』が平成元年 10 月にオープンし、また、業務研究地区、タウンセンター地区等においては国際的な企業の進出が盛んであり、大形インテリジェントビル、ホテル等も次々にオープンしており、公園・緑

地地区では日本庭園「見浜園」などが一部供用されています。

(2) かずさアカデミアパーク構想

東京湾横断道路、東関東自動車道館山線等の建設により、首都圏の重要な交通拠点として大きな発展可能性を持った上総丘陵に、その地形を活かしたクラスター型開発を採用し、民間研究所を中心としたエレクトロニクス、新素材、バイオテクノロジーに代表される国際的水準の研究開発拠点の形成を目指すものです。

全体の計画は、21世紀初頭に至る30年間に約1000ヘクタールを開発することとされており、概ね10年を単位として3期に分けて段階的に整備が進められることになっています。そのうち第1期事業は、約278ヘクタールについて平成7年度を完成目標に、現在土地区画整理事業により基盤整備が行われています。この中で特に、かずさアカデミアパークの先導的・中核的施設として、遺伝物質の本体であるDNAの構造解析を研究する『かずさDNA研究所』が平成5年度の研究開始を目途に設置の推進がなされており、また、立地する研究所に対する都市的サービスや研究開発情報等の提供、交流サロンとしての役割を果たし、さらにセミナー等の開催を通じて広くPRする施設として「センター施設」が整備されることとなっています。

その他、民間研究所、公的試験研究機関等の設置が計画されており、民間研究所等については立地候補企業として既に9社が決定されています。

(3) 成田国際空港都市構想

成田空港は旅客数2166万人、貨物量135万トンを取扱う、世界有数の国際空港であり、これを活かして国際物流機関の集積と周辺地域への先端技術産業の展開を図り国際交流の拠点性を高め、高次の都市機能を備えた国際空港都市の形成を目指すものです。この中で「成田国際物流複合基地構想」は、平成2年12月に策定され、空港隣接地に航空貨物ターミナル機能等複合的機能を兼ね備えた物流基地を整備しようとするものであり、国際航空物流の円滑化、効率化を確保し、わが国の物流拠点としての役割を果たすものです。また、成田空港の周辺に、空港機能を活かした工業集積を図り、活力ある地域づくりを進めるため、8つの臨空工業団地の整備が推進されています。

3. 房総リゾート地域整備構想

房総地域は、首都圏にあって恵まれた自然を有しており、また、豊かな歴史性と地域文化、新鮮な魚介・農産物などリゾートとして必要な要素を備えた地域です。これらの要素を活かし、①海と花と緑に包まれた通年型リゾート、②首都圏における新しい生活空間を提供するリゾート、③国際化に対応した質の高いリゾートの形成を目指し、独自性のあるリゾート地域づくりが進められます。そのため、アクセスの確保のほか、自然環境の保全、開発事業の適性な誘導などが必要となってきます。

4. 新しい広域幹線交通網関連地域の整備

(1) 東133飾情報文化都市圏整備構想

首都圏の新たな役割を担う東133飾北部地域を情報文化都市圏として育成することとされています。特に、「常磐新線沿線新都市整備構想」に基づき、首都圏新都市鉄道と一体となった7地区約1400ヘクタールの新

市街地の整備により良好な宅地の供給と柏・流山地区の都心整備が推進されることになります。

(2) 千葉東部新産業文化都市圏整備構想

首都圏の東部産業軸の核としての役割を担う首都圏中央連絡自動車道沿線地域を中心とした千葉東部地域を、新産業文化都市圏として育成することとされています。具体的には、首都圏中央連絡自動車道と一体となった新市街地の整備及び市街地の再開発により良好な宅地の供給と都市機能の充実を図ること、また、「軸状工業ゾーン」の一翼を担う中核工業団地の整備が行われることになっています。

おわりに

このように見てくると、千葉の将来を規定する要素としては、①首都圏の東側にあり東京に隣接しているという位置特性 ②東京湾横断道路や首都圏中央連絡自動車道等広域幹線道路の計画 ③豊かな自然環境の存在という三つの大きな要素をあげることができ、これらをどのように活かし、組み合わせていくかが課題であり、また、夢でもあります。今後とも、県民の皆さんの英知をもとに、私も、ゆとりとうるおいのある“さわやかハートちば”づくりに取り組んでゆきたいと考えています。



鉦音高い幕張新都心

リジョンの頁

2R

333-C地区内でも、2Rは東京から程良い距離にある船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、湖南町の12クラブで構成されています。

今回、2R特集ということで、当リジョンの特徴ある情報をご紹介したいと思います。

2リジョン 12クラブの合同 アクティビティーについて

2R RC L. 鈴木 行正

各クラブには、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、標題につきましてご報告いたします。千葉県船橋赤十字血液センターへ血液運搬車をお贈りいたしたく、第1回ガバナー諮問委員会時に、RC提出議案として審議いただきました。血液センターでは、現在4台の運搬車で毎日定期的なコースを運行。2日に1回ぐらいの割

合で緊急出動があるとお聞きました。

その後、12クラブがそれぞれご検討をくださって「異議なし」との内諾を得ています。

アクティビティー事業費は約160万円です。実行は平成4年1月を予定してます。ライオン各位のご協力に感謝申し上げます。

当リジョン内には、マンスリーレポートでも御承知の通り京葉LC、船橋東LCに代表される献血による採血量は群を抜いた貢献度を示しています。

献眼登録キャンペーン 街を行く

船橋LC 幹事 斉藤 勝雄

『市民の皆さん!! 目の不自由な方々に光と愛を。ライオンズクラブは献眼者を募集し、アイバンク研究のための援助を行っています』 盲導犬二匹を挟んで、アイマスクを付けた体験メンバーの一行が船橋市内の中心街をパレードし、一般市民へ視力ファーストへの意識の昂揚と献眼登録参加を訴えた。この異色とも思える献眼パレードは、船橋ライオンズクラブ（会長L. 土屋富行）が、ライオンズデーに企画、実践したものでこの運動を契機として、53万人の船橋市民から高い関心と評価が



寄せられている。

自分の目と足で確かめるアクティビティを希う船橋ライオンズクラブは、マンネリ化傾向のライオンズデーの継続アクトから脱皮しようとメンバーの創意と工夫により、バンカー国際会長の提唱する『視力ファースト』に着目、その具現化への第一弾として『目のご不自由な方々に愛と光』と題して献眼登録キャンペーンを、地元船橋市をはじめアイセンター、千葉県アイバンク、つくしの会の協賛と後援を得て、ライオンズデーにあたる去る10月8日に実施した。当日はあいにくの雨にも拘らずJR船橋駅北口おまつり広場には、多勢の一般市民が参集、セレモニーのあと、厳しい訓練を積んだ盲導犬を中心として、アイマスクを付けた体験メンバーが、列を連ねて目抜き通りを行進し、道ゆく一般市民に『不幸にも



失明した方々に光と愛をプレゼントしよう』と献眼登録への協力を力強く訴えた。この異色とも思えるアクティビティに、地元市民をはじめ、TV局、新聞報道関係者の取材攻撃が続いた。この真摯な姿勢が市民の共感を呼んだのか、その後、クラブ事務局に一般市民から献眼に関する質問も寄せられており、献眼への認識と関心の高さに関係者は驚いている。



盲導犬とアイマスクの異色パレード

以上、2RのACTは元ガバナーの推進されたACTの重要性を継続してとらえ、現在でも地道な活動と実績を挙げて居ます。

第3回アイバンクキャンペーン及びバザー開催

船橋ポートLC 幹事 L. 木村 孝夫

10月23日(木) JR船橋駅内コンコースに於いてアイバンクキャンペーン及びバザーを開催致しました。この企画は、献血だけでなく、献眼に対する関心を一般の人に数多く持って頂けるようにと考え、船橋駅長の多大なるご理解を得て催されているものです。バザーでは船橋市に於ける奉仕活動をしている方々や老人大学同窓生等に協力をして頂き、船橋市と交流のある北海道津別町のじゃがいも及び玉ねぎ、船橋沖のあさりを中心に販売しました。

キャンペーンに於いても当日8名の献眼登録があり、パンフレットとはがきも1000枚配布し、全回の21名の実績程はいきませんが後日送付されてくるはがきも例年10数名ありますので期待しているところです。そしてこのキャンペーンの成果を信じ、各方面の理解と協力を得て継続していく所存です。



クラブで独自の会館

船橋北LC

“人の集まる所に文化が生まれる”と良く言われますが、4年前、当リジョンにメンバー全員が力を併せ幾多の問題を乗り越えて、独自のクラブ会館を建設されました。

メンバーの間のライオニズムの高揚は勿論のこと、地域社会のコミュニケーションセンターとして連帯とPRに一役を担うものとして大いに期待されています。



国際親善 & 国際交流

最近、どの世界でも国際交流の話題が多く聞かれます。私供、2 R内のクラブも、殆どのクラブが姉妹提携の型やYE活動、或は、行政の姉妹都市を支援する型で、活躍されています。LCの存在の大きな意義として寄せられている期待に応えたいと思います。今回は1例を御紹介致します。

船 橋 中 央 L C

国際少年軟式野球船橋大会が開催され、参加8ヶ国の中で、ポーランドでは2年前から少年に日本式の軟式野球を取り入れ、心身共に健やかな青少年育成に力をそいでいるが、野球の道具が手に入らず不足しているという話を聞き、クラブ員の家庭で不用になった古い道具を集め、役立ててもらおうと送り、大変に喜ばれ反響を呼びました。

尚、南米、東ヨーロッパでも日本で生まれた軟式野球が少年達に非常に人気が高いが、道具が買えず、不足しているので、今後当クラブでは市民に呼びかけ家庭で眠っている古い道具を集め、贈る計画です。



習 志 野 L C

習志野LCと台湾竹南LCと姉妹提携を結んで、今年で19年になります。

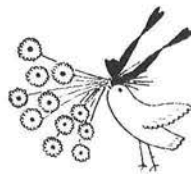
毎年相互に親善訪問を行っていますが、今年も竹南LCから24名の人が、東洋東南アジアフォーラム参加を兼ねて、11月5日に来日されました。その日の夜、歓迎例会を津田沼グラウンドで行い、親睦を深めました。もうお互いに顔なじみの人達ばかりで、和気藹々のうちに再会の喜びを語り合いました。

11月23日には、これからも安西会長以下21名が、竹南LCを訪れることになっています。

又本年8月には、竹南LCメンバーのお嬢さん3名が来日し、YE生として我がクラブのメンバーの家で、4週間のホームステイを致しました。



女性メンバー登場



2 Rのクラブ運営の特質の中に女性メンバーの加入があります。昨年、八千代LCのスポンサーにより、CNを迎えた八千代東LCのチャーターメンバーに3名の女性メンバーが誕生されました。活動を始めて約1年！ 幹事L. 井上と女性メンバーお二人に近況と、感想の寄稿を依頼し、ご紹介致します。

女性会員を迎えて

八千代東ライオンズクラブ

幹事L. 井上 徹哉

八千代東ライオンズクラブの女性メンバーは結成時より男性メンバーと同じくスタートした訳です。地域社会でも事業の面でも立派な手腕をもった現代女性の入会でブラザークラブの注目を浴びた事は勿論ですが、私達が会を重ねる度に感じた事は男性に無い密な考えを提供してくれる事です。

大体男の場合は考えが一致するか同調するかになりがちですが男性と違う意見、アイデアを提供してくれた場合があります。又問題が行き詰まった時の妥協点を見出してくれるのも女性会員の様な気がします。例会に於いても大きな会合に於いても必ずきれいな花を咲かせてくれて会がなごやかにそしてはなやかに進められるのは確かだと思います。そしてあでやかなライオンズスタイルの女性もとても良いものだといつも目を向けております。今後の活躍に大いに期待を寄せる次第です。

私から見たライオンズクラブ

八千代ライオンズクラブ

L. 安宅 一枝

私がライオンズクラブにお誘いを受け、入会させていただいてから、早くも1年と数カ月が過ぎました。私にとっては、未知の世界です。期待と不安でいっぱいでした。

最初に体験したのがチャーターナイトです。この時、私がまず感じた事は、出席された多くの先輩ライオンのライオニズムと、各クラブ行動の価値を……先輩ライオンのスピーチを通じて強く感じました。そして私の一番の期待でもありました多くのお仲間との交友です。私の胸は大きく膨らみました。

あれから1年があっという間に過ぎました。1年間の活動を恋にたとえるならば、無我夢中で何も見えなかったと思っています。



これからは徐々に恋から愛に変わっていき……愛とは、相手の立場になって冷静に考えられるようになる事だと思います。クラブ内のキャビネットと理事が、そして会員がそれぞれの個性と感性を持ち寄ったハーモニーで、ライオンズの目的である素晴らしい奉仕活動が出来ます事を期待しているのです。

抱 負

八千代東ライオンズクラブ

L. 田村 哲子



こんな宝物があるでしょうか。女性から見たライオンズクラブは素晴らしい、重く深い方々の集まりですね。男性の中に3名の女性メンバーがありますが2人の女性の方の素晴らしいこと、1人は私と同業の方で大先輩です。仕事の方でも良い相談相手となってくれますし、もうお1人は私の今までの人生の中で知り合った方々と違う面を持った方です。私は2人姉をもちました。もっと早く知り合っていたら、私は自分の会社の目標をもっと早く達成出来たかもしれません。学んだ事はメモをとって娘達に話します。「いい人なんだねー」「へーお母さんもそうになったら」とか娘たちから云われる様にライオンズクラブへの入会は人生勉強にも最高に役立つ素晴らしいクラブです。私の出来る範囲で協力し頑張っていこうと思っています。

出産の時にお世話になった先生のお誘いで入会しようと思っていた時、主人も別な方から話があって揃って入会しました。そして一年例会に出席していろいろな人達の話聞くのがとても楽しく先輩クラブの例会に訪問した時は私共も早くこんな立派な例会がしたい、と考えさせられました。仕事で遠くへ出かける時もあります。そんな時このL字のバッジにいつも感謝をします。信頼されて仕事も順調に進み、どこかで会ったライオンズマンに気軽に声をかけて会話も自然とはづみます。最近特にその組織の大きさに驚いています。行く先々でお会いするライオンズマン。

L. 赤田 久子



以上、2Rの近況をお知らせ致しました。各R毎の、様々な情報をこの頁を通して知り合えたらと願いつつ、リジョンの頁の意義に貢献出来得ればと思います。

2R PR情報委員 L. 桜井 留治

活動するライオンズ

柏LC 柏中央LC 柏グリーンLC
柏オークLC 柏LSC

こんぶくろ池

1R. PR情報委員

L. 鈴木 稔（柏中央LC）

手賀沼の三大水源地として、古くから入道池、ひょうたん池、いずれも現鎌ヶ谷市と柏市正連寺のこんぶくろ池がありました。はじめの二つがすでに明治初年小金牧開拓の段階で消滅し、地名等にその名を残しているのに対し、こんぶくろ池は湧き水池としての面影を止めているのは、まことに喜ばしい限りです。

正連寺の片隅の林の中にある変てつもない小さな池がなぜ大切なのでしょう。

母馬が番してのます清水かな 一茶

この句が詠まれたのはおよそ180年前頃かと思われます。一茶が歩いた道程は正確には分かりませんが、この句が「牧」の中の湧き水池で詠まれたことは確かで、こんぶくろ池である可能性も十分にあります。

一茶の句からも知り得ますことは、こんぶくろ池が当時から水を貯えていたことであります。万年一日として枯れたことのない池が、周囲に水源となる湖沼があるわけではなく、平坦な林の中にあるだけに不思議です。池の湧き水は、林の中を通り抜け果ては手賀沼に注いでいたものと言われています。

水稻民族たる先代人は、この水の恩恵に浴したことは事実で、人と池との長年係わりあってきた存在評価は絶対的であります。

地元の老人の話によると若い頃、水汲みに池へ行くと二、三ヶ所から盛り上がって水が湧き出ているそうです。

今池の畔にたたずみ、よく見てもその活気はありません。なぜでしょうか、私達は知らず知らずのうちに池の精気を阻害するものを作り上げてしまったのです。

池の状態は、人間生活にとって大事な自然とのかかわり合いのバロメーターであります。自然を失った人間のゆくえは・・・哑然たるものをおぼえます。今のうちならなんとかなる。自然を復活し池に活力を与えることが、現在の人に課せられた使命だとも思います。そこで柏市内5クラブ——柏LC、柏中央LC、柏グリーンLC、柏オークLC、柏LSC——が世界ライオンズデーに於いてこんぶくろ池の清掃作業に取り組む事に致しました。

10月29日（雨のため10月8日より変更）久しぶりの晴天に恵まれメンバーは柏の葉公園に集合いたしました。参加総人員190名（柏LC60名、柏中央LC45名、柏グリーンLC25名、柏オークLC25名、柏LSC20名、柏市市役所関係15名）

午前10時、神官の祝詞に始まり、いよいよ作業開始。池の周囲約300メートル。水の中の枯れ木、古タイヤ、折れた大木等を取り除く作業に約1時間30分快い汗をかきました。



私達と貴重な「こんぶくろ池」との付き合いから、いくつかの物語が生まれました。ここでこんぶくろ池の民話と、いいつたえの中から一つ紹介いたしましょう。

昔のこと、夕暮れの間近い頃、正連寺の村家によぐれた旅姿の坊さんがやってきて「こんぶくろ池の主に頼まれてお願いにきました。こんど手賀沼の主がこんぶくろの主に逢いに來ることになったが、正連寺の人達はうなぎをつかまえてたべないでもらいたい。約束をして下されば今まで以上の田や畑の豊作を約束する。できなければ米は一粒もとれなくなってしまうでしょう。」不思議な坊さんだ、と村人はそつと後をつけてみた。

こんぶくろ池までくるとうす暗闇の中で黒いかたまりが動いたかと思うと、うなぎのつら（顔）がありと見えた。と、とたんに池の水の中に消えてしまった。村人はびっくりしてしまいました。その後村中寄り合って、これからはうなぎを食べないことに決めました。それからは豊作が続き、人々はこんぶくろ池の主のおかげだと先祖からのきまりを受け継ぎ、未だにうなぎは食べないそうです。

—— 柏市こんぶくろ池保存の会より

緑を保存し、壊れた自然を復活させるという私達の使命を遂行することができた有意義な世界ライオンズデーでした。

我孫子LC

平成3年5月26日、新緑目にしみる日曜日に我がクラブが恒例活動の一つとしております、第3回我孫子ゲートボール大会開催いたしました。

この行事は、市老連をはじめ市内のお年寄りを中心に毎年楽しみにしていただいているものでありまして、特に力が入るACTの一つでもあります。当日は、早朝からメンバーが集合、会場造りグラウンド整備に汗を流し、300名の“前、青年(?)”の活気の前では、些か押され

気味の様相でありました。

この日だけは日頃強気のメンバーも、その元気はどこへやら、ゴルフクラブをスティックに持ち替えて悪戦苦闘、特別参加の試合では、今も若きゲートボールプレーヤーの前にあえなく、“惨敗”中には第一ゲート通過もままならず、落ち込む姿も見られ奉仕活動とはいえ、十分に楽しんだ一日でありました。



鎌ヶ谷LC

10月27日、市制20周年記念行事で一日市長を担当。一日市長、原田ゆかりさんと行動。その時に下記を寄贈。

- 老人ホーム、慈祐園に助成金 60,000円
- 寝たきり老人助成金 80,000円
- 総合福祉保健センターへ、テレビ2台と、ビデオ寄贈 300,000円





We Serve

船橋ポートLC

船橋ポートライオンズクラブの生い立ち

初代会長 L. 小石 税 (船橋ポートLC)

船橋ポートLCは、1982年単県独立後、初代藤田ガバナリー(習志野キャビネット)誕生のお祝いに、船橋中央ライオンズクラブのスポンサーで結成されました。当時、船橋にライオンズクラブの火が灯って、20年だったのですが、我々新米ライオンは、ライオンズクラブがどのような活動をしているのか、全然知りませんでした。船橋総合卸売団地、青年会議所OB、親クラブの紹介を受けた方々で結成しましたが、一つにまとまる事が出来るのか、どのような方向で進むのか不安でしたが、又、今日の船橋ポートLC、が有るのは、「スズラン給食」の8ミリ映画を見せて頂き、あの感動があったからだと思っています。

それ以来、我々のACT、の中心は、船橋市民が「船橋市に住んでよかった」「よい街から、お嫁さんが来てよかったね」と云われる街に成る様に、お手伝いが出来る。その為にはどのような奉仕活動をすればよいのか、を基本として考え進んで参りました。

そして、一本のローソクに成り、多くの方々の協力を得て、目的に向かって進んで参りました。老人の為に屋根付きゲートボール場、「私があげる花火大会」、誰もが参加出来る「江戸みこし」、そして、我がクラブの最大のACTであり、10年間に大きな輪に広がっています船橋市老人大学の設置、協力。親子三代で楽しく出来るフライングディスクの普及と運営の協力です。

この老人大学卒業生の協力で、毎月一回の献血を行っています。

北海道網走郡津別町に農業後継者の花嫁さがしのお手伝いが、発展して、船橋市の子供達が農業体験に。津別町の子供達が船橋市へと青少年の交流が行われる様になり、一本のローソクが十本に成ったと思います。

来年は、船橋ポートLCも結成十周年を迎えます。

記念事業として、船橋ジュニアオーケストラ70名を津別町におくり、文化交流の輪を広げたいと思っております。又、東京湾の漁業の歴史を船橋の子供達に残すビデオの制作も進めております。

歴代の会長は、常に船橋市が明るい豊かな街に成るために役立つ事を目的に頑張っておりました。

来年秋、船橋ポートライオンズクラブは、チャーターナイト十周年式典を、大勢のブラザークラブの方々の出席をお願いして、盛大に行いたいと思っています。それを期に、又、心新たに再出発したいと考えて居ります。

八千代LC

心身障害児招待いもほり大会

日本のLCがはじめて身障者に対して奉仕活動したのは、1953年神戸LCの金銭ACTであると聞いています。それ以来、多くのLCが身障者対象のいろいろのACTを実践し主要な奉仕活動となっています。

私たちは、八千代市に350名内外の障害児がいるという現状から当然ながらこの問題にとりくみました。施設の慰問、金銭アクトのほか何かないか？ということで十年以上前からこのいもほり大会を実行してきました。しかも、いもほり時期がライオンズデーと一致するので、ライオンズデーのACTとして適当であると思っています。



メンバーの高橋L. が苗植から手入れまで奥さん共々毎年この準備と畑の提供をされてこられたことに心から感謝するものです。

いよいよ10月20日はいもほりの日ですが、18日は、つる切作業奉仕です。大木L. の八千代市でたった一台のつる切機を駆動しての作業、メンバーもなかなか堂にいったものです。そして91名の身障者を迎えてのいもほり、好天に恵まれ、畑をとびまわる者、泥まみれになってほる者、みんなの喜びの顔・顔・顔。台所では、いもふかし、湯茶の準備にライオンレディのかがいしく働くエプロン姿があった。

両手いっぱいのいも袋をさげて送迎バスにのる姿をみて、来年もまたやるぞという意欲がわいてきた有意義な秋の一日であった。

千葉LC・四街道LC

千葉県立千葉盲学校でピアノ演奏会を開催

(盲人福祉)

平成3年9月12日夜、四街道LCと合同で、四街道の千葉県立千葉盲学校を訪問し9月にお誕生会に参加させて頂き、私達ライオンズクラブ会員と盲学校の生徒さん達と夕食を共にし、その後、当クラブ会員のピアニストL. 大原保人によるピアノ演奏会を開催いたしました。生徒さん達は大変喜んでくれ、手拍子をとったりダンス

をしたり非常なフィーバー振りでした。

小6の高橋繁君、松山博子さんとL. 大原とのピアノ連弾やハッピーバースディの合唱など盛り沢山で、アンコールも何回もありました。

盲学校の生徒さんは特に音楽に対して感性が高く、ピアノをひいてくれた2人の生徒さんも考えられない程耳がよく、曲を聴くと自然に手が動きピアノをひく程の天才でした。



わたしたちに して 大原さんの 演奏会は とても
貴重な 経験に なりました。
手紙 たくさん おみやげと 層何金と
いたお返しに ありがとう ごぞいしました。
家族や 文化祭 体育祭など
もし ようしければ 今度は わたしたちの
発表会 見に 来て ください。
では これからも お元気で... そして
手紙 お会い できる 日を 楽しみに して います。
ありがとう ごぞいしました。
大原さんへ きのうは 素晴らしい 演奏会
をかせて くださって どうも ありがとう ごぞいしました。
わたしも 今 ピアノを 習って いますから もっと
練習して うまく 弾けるように なれればと 思っ
ています。 わたしは とても いい 演奏が 王けて
とても うれしかったです。 これからも がんばって
ください。
松山博子より

大原さんへ きのうは 素晴らしい 演奏会
をかせて くださって どうも ありがとう ごぞいしました。
わたしも 今 ピアノを 習って いますから もっと
練習して うまく 弾けるように なれればと 思っ
ています。 わたしは とても いい 演奏が 王けて
とても うれしかったです。 これからも がんばって
ください。
松山博子より



We Serve

最後に生徒会長の椿君が「素晴らしいピアノに感動してLCの皆さんが私達と一緒に食事をしてくれお話が出来たことも非常に嬉しく思いました。」とお礼の言葉を述べて下さり、心が洗われる思いでした。

8月31日のドナルドE.パンカー国際会長公式訪問の際の国際会長挨拶で、LC・会員に一番大切な事は、「Involvement」であると言われた事がとても印象的でしたが、直接掛かり合う、積極的に参加して役割をはたす事が何よりも大切と思いました。

今回盲学校の生徒さんと直接掛かり合い、一緒に食事を共にした事が盲学校の生徒さんの心を少しですが開いた訳です。

今後又機会を見て訪問の予定です。

千葉京葉LC

献血ACT報告

7月24日、千葉京葉ライオンズクラブは、千葉京葉ライオネスクラブの熱心な協力のもとに恒例の献血アクトを行った。当日は朝から30度に近い猛暑に見舞われアクトの成果を心配するむきもありました。しかし乍らメンバー大勢の努力により多数の献血協力者の参加を頂き、良好な成績を上げることが出来、日赤側から改めて、厚い謝意が伝えられる程でした。



又、当日は、初めて成分献血が募られ長時間に渡る採血の為、参加者が少ないのでは無いかと危惧されましたが、クラブ会長自ら先頭に成分献血を行い、15名という多数を得ることができ、クラブの用意をした粗品が不足する程の状態でした。ここに当日の結果を記して皆様に深く感謝を申し上げます。

受付	138名	内献血者	117名
採血量	30,200cc	成分献血者	15名

銚子LC

野球王国“銚子”を支える小学生の晴の舞台、第18回「銚子市秋季少年野球大会」銚子ライオンズクラブ・銚子市教育委員会主催は8月24日から三日間、同市野球場で熱戦を展開、合わせて12チームが出場し8時30分から開会式を行いライオンズクラブの小松義男第一副会長が開会宣言。昨年優勝の海上小から、あこがれの優勝旗が返還された。



主催者を代表として酒谷昌男ライオンズクラブ会長が、「選手の皆さんの元気いっばいの入場行進を見て私も身の引き締まる思い。日ごろ鍛えた練習の成果を三日間にわたる大会で思う存分発揮して下さい。世の中には野球をしたくても病気などで出来ない同年代の子供が大勢いる。ですから健康に感謝して、持っている力をグラウンドにぶつけて、」と選手を激励、選手代表として若宮小

の石井和宏君の大きな声で選手宣誓をしていよいよ大会の幕が切って落とされた。

大会最終日の26日準決勝に勝ち進んだのは若宮、本城、興野、豊岡の各チーム大熱戦の末、本城チームに軍配が上がった。

なお試合後行われた閉会式で活躍の目覚ましかった選手に最優秀選手賞などが贈られた。

東 庄 L C

香取学園観月会

9月22日午後6時より香取学園観月会（月見の会）を香取学園瑞穂寮の屋上におきまして行われました。

参加メンバーは、第4回リジョン内の各クラブ或は姉妹提携を結んでいる、羽田クラブの皆様でなんと総勢208名の方々のご参加を頂き、会は終始にわたり盛会裡に終了いたしました。

特に天候が心配されましたが、幸い好天に恵まれて素晴らしい「仲秋の名月」を拝することができ、又、神秘的な夜空に数拾発の花火を打上げ、その風景は又とない夢のひと時の景観でもありました。

この間、橋口本ガバナー、地元五十嵐町長更に羽田クラブの新井会長様等の来賓のご挨拶、続いてアトラクションとして地元下座クラブ、園生の発表、歌手の梢 菜見子さん等が応援下さいまして、なごやかな雰囲気のもと



で最後に「また会う日まで」を全員で合唱し終わりましたが、その観月会は、ご参会の皆さんに深い感動を与えた観月会でありました。

来年も、ぜひ冴々とした仲秋の名月を期待して記いたします。

大 栄 L C

梨狩招待について

大栄ライオンズクラブ（会長三谷公平）では、例年町内の幼稚園児を梨狩に招待する独自の行事を行っている。



これは、継続事業として10年間続けられている行事であるが、本年は幼稚園児（120名）の他町内の精薄勤労者を加え8月26日月曜日に、L. 宮野利活の梨園を会場として実施しました。当日は天候にも恵まれ会員多数参加のもと、共に梨狩を楽しみもぎたての味を賞味しながら次代の健やかな成長を祈りつつ貴重なひとときを過ごした。

栗 源 L C

現在北総育成園は精神薄弱という障害を持った成人の人々が、いつの日か社会へ出て働くことを目指して生活しております。日中は作業に精を出し、夜間や休みの日には余暇の時間を有意義に活用として、生まれたものの



We Serve

一つがクラブ活動、演劇もその中に属します。最初は「どっこい一座」という名でたどたどしい歩みでしたが、興味も湧き、努力を重ねてここ数年素晴らしい進歩を遂げ現在演劇クラブとして活動しています。

栗源ライオンズクラブは、9月19日障害をもつ園生による高村光太郎詩集より「犬吠太郎」演劇を地元で開催。舞台上汗を流し演技をする園生の顔がはればれとして、とても美しく脳裏にやきついて居ります。地域の人達270名参加をいただき園生と地域の住民との昼食会、手作りのカレーライス蒸しパンを、ほうばりながら語らい。これが私達クラブのめざしている心の奉仕だと実感しました。



旭 LC

海上郡市児童生徒科学工夫作品、論文展の共催

継続事業として毎年実施している旭ライオンズクラブ、9月8日展覧会当日には児童、一般住民の真剣な目差し



で優れた作品を観察する人達。作品数は540点と前年度より増加入場人員も841名。

例年以上の優れた作品と作品数、入場者数で関係者の方々より感謝をされました。優秀な作品については児童に表彰して千教研東総支会と共催の展覧会を終了した。又一般の来客の方々よりこのACT事業に対し賞賛の言葉をいただき、クラブとしてはこれからもこのACRを継続し地域社会に奉仕していく所存です。

君津 LC

ライオンズの森の清掃

20年前に先輩ライオンによって築かれたライオンズの森、市民憩いの美しい緑の森は今もしっかりと引き継がれ、更にめぐり来る記念事業の植樹によりその深まりを一段と感じさせている。又樹木の伸長に合わせて国旗掲揚塔も改築されてすがすがしい感じがする。当初国旗掲揚塔を寄贈された佐久間惣治氏は今も国旗掲揚の奉仕を日課としている。

今年の10月8日、アクトは雨のため10月16日に延期実施した。長い雨に洗われた木々は待っていたかのように太陽の光に映えてまばゆいばかりに緑が輝いている。ライオン、ライオネスの各メンバーは長い雨のトンネルを抜け出たように足どりも軽く午後3時に届出以外全員集合、夫々思い思いの用具を携行、早速作業開始、鎌で草を刈るネス、伸びた枝を鋸で切る青年ライオン、植木鉢で自慢の腕を披露する熟年ライオン、又草刈機で威勢よく草を刈り取る壮年ライオン、そして作業の進捗状況を配慮しつつ激を飛ばす松田会長と渡辺委員長、それに応えてライオンが大声で吠える等々作業は汗と泥にまみれ乍らも和気藹々の中に進み、2時間後には見違えるような清らかなすがすがしい森に若返った。

終って芝生の上に車座となり、配られた夕食の辨当に舌鼓をうちながらライオネスと合同の青空例会を開き「奉仕の喜びに浸る」楽しい一時をすごした。



ライオネスクラブ特集



「ライオネス・プログラム」通信

地区L S委員長

L. 村田 増雄 (千葉京葉L C)

1991～92、L Sプログラムがスタートして2カ月を経過、9月13日第1回L S連絡会議を開催、各クラブ共順調に発進すでに数々の事業を行っている。

特に各クラブともに、事業・運営に慣れそのバイタリティは素晴らしいものがある。

ここに第1回誌上通信を掲載させて頂き、各L Cのご参考に供したい。

先にお断わりしますが、紙面の都合を勘定し掲載出来なかったL S Cは、次回に掲載頂くことをお許し下さい。

* 館山L S C 会員18名

労力A C T 18名 59時間

金銭A C T 合計115,871円

献血A C T 2名 400cc

ひかりの子学園・館山特別養護老人ホーム等計6件のA C Tを行い特に老人ホームへは車椅子3台(今回で6台目)贈呈を行った

* 流山L S C 会員33名

労力A C T 39名 167時間

金銭A C T 合計24,250円

リバー・パレス(老人ホーム)入浴の手伝い7月～9月、雲仙噴火募金等実施

* 船橋中央L S C 会員26名

労力A C T 48名 318時間

金銭A C T 合計1,290,170円

肢体不自由児父母の会、手伝い、豊寿園養護老人ホーム慰問、船橋市緑の基金、等新入会員5名増。

* 市原南L S C 会員25名

労力A C T 15名 120時間

金銭A C T 80,000円

市原養護学校、職場実習生受け入れ、ボーイスカウト、サマーキャンプ手伝い、フォスタープラン送金、雲仙義援金、丸山公園草刈り等。

* 君津中央L S C 会員17名

労力A C T 22名 198時間

金銭A C T 合計152,910円

献血A C T 14名 1200cc

親クラブ主催チャリティゴルフ手伝い、小糸中学運動会手伝い、等。

* 柏L S C 会員26名

労力A C T 23名 90.5時間

金銭A C T 合計30,000円

親クラブの献血手伝い、柏肢体不自由児を育てる会応援、ソーランスからの交換学生の通訳、こんぶくろ池クリーン作戦打合せ等。

* 鴨川L S C 会員26名

労力A C T 19名 59時間

献血A C T 1名 200cc

* 鴨川市福祉センター作業所手伝い、鴨川L C受入Y E生茶の湯講習その他

* 富津L S C 会員30名

労力A C T 32名 123時間

金銭A C T 合計125,000円

ライオンズの森清掃奉仕、青堀駅前清掃奉仕、親クラブの献血手伝い、富津市福祉作業所ひまわり園慰問等。

* 君津L S C 会員16名

労力A C T 32名 171時間

金銭A C T 合計137,588円

君津市社会福祉作業所訪問今後の協力の打合せ、駅前フ



We Serve

ラワーボットの管理、雲仙災害見舞金バザーに協力、等。

＊ 木更津金鈴LSC 会員12名

労力ACT 9名 59時間

青少年健全育成クルージング大会手伝い。

木更津港まつり協賛献血、143名 不適4名 35,800cc等。

＊ 千葉京葉LSC 会員19名

労力ACT 23名 116時間

金銭ACT 合計245,000円

献血ACT(親クラブと合同)134名採血量30,200cc、
赤十字事業資金・エルピザの里、雲仙災害・等へ援助金
贈呈、千葉市養護学校運動会に協力。

フォスタープラン協会に(里子)ビーランジ・ゴウダ
君に援助金を送る、5年前から実施、彼も12才になり
ました。

10月1日ACT報告書が届いたものまで記載しまし
た。後は次回に。

船橋中央LSC

去る7月20日船橋産業まつり

ジョイ&ショッピングフェアに当クラブが初の出店
を試みました。

朝の内は小雨にもかかわらず出足は好調。会員の献品
はまたたく間に完売、午後からはお天気も回復、野菜、
飲物等も順調に売れ総て完売致しました。

私共の予想以上の成果を挙げる事が出来ました。尚売
上金は(財)船橋市緑の基金に全額寄贈致しました。

写真は当日市長様がお買上げ頂いている所。品物を手
渡している市長婦人(大橋良子LS)です。

今度、当クラブは5名の新入会員を獲得する事が出来
ました。

9月18日の例会に入会式を挙行政致しました。

当日はゲストに親クラブ第3代会長屋橋知己Lに御出

席頂き「ライオネスクラブについて」の講演をお願い致
しました。



市原南LSC

9月20日市原市の中央会場として、市長はじめミス
グランプリ、地区の小学校の銀輪部隊、ブラスバンド湘
南動物園のラクダ、象なども参加して牛久商店街で交通
安全パレードが行われました。

各種団体から総参加者1100名、10時半から12時半ま
で草花の種や風せんを沿道の人々に配りながら21日か
ら始まる交通安全運動を呼びかけました。

市原南ライオネスも親クラブの市原南ライオンズのメ
ンバーと共に参加し、協力致しました。



千葉京葉LSC

養護学校運動会へ

親クラブと合同ACT

9月29日(日)千葉市轟町、養護学校グラウンドで行われた千葉市立第2養護学校の秋季運動会へ親クラブ千葉京葉LSCとともに参加、一日ささやかなお手伝いをしました。

同校は現在間山久弥校長以下職員28名、介助員5名で運営されており、児童数は32名です。今年の4月県立養護学校創立に伴って、それまで60名程いた児童の半分以上を分離しました。

親クラブからL10名、当クラブではLS6名で、運動会のプログラムに従い用具の準備や出し入れ、応援など朝9時半に始まり午後2時まで、のびのびと元気で一生懸命な児童達と本当に嬉しく過ごしました。

当クラブからは気持ちばかりの金銭ACTを親クラブからは金銭ACTの外にお祝いの紅白饅頭が寄附されました。

体操、応援合戦、パレード、ゲーム、玉入れ、各種リレー、親子で洗濯、そして最後に紅白リレー(全部で20種目)です。

「生き抜く力を身につける」を教育目標にして職員の皆さんの澄んだ目と、どこからともなく漂ってくるモクセイの香りが、いつまでも強い、印象として残りました。



さる9月22日、市原での3R、3Zガバナー公式訪問合同例会の席上、渡辺惇キャビネット幹事が幹事報告の中で、いろいろな運動会があるけれども養護学校の運動会は、オリンピックと同じ位、お金を払っても観る価値があるすばらしい運動会ですと仰言っていましたが、本当にその通りと思いました。

千葉京葉ライオネスクラブが奉仕活動をしているフォスタープランのピーランジ・ゴウダ君の写真です。



君津LSC

7月8日 君津市社会福祉協議会作業所を視察いたしました。養護学校を卒業された生徒の職場です。牛乳パックを材料とし、はがき、名刺など注文販売しています。





We Serve

ンター内に於いて事務局長のお話を聞きロータスクーポン集めのお手伝いをするにいたしました。

センター内に於いて目の不自由な方へテープを送る手伝いをしているメンバーです。

8月3日 君津ライオンズクラブと合同アクトとしてライオネスクラブは雲仙普賢岳災害見舞金獲得事業としてふるさと祭りチャリティーバザーに参加をいたしました。メンバーの協力により多数集まり当初の目的を達成する事が出来ました。

館山LSC

かなしみを少しでもすくなくと、切なる願いに建てられた館山特別養護老人ホームは、昭和50年12月1日開園し、定員100名です。身体又は精神上の障害があるため常に介護を必要とするお年寄りの方が入所しているところです。車椅子3台を寄贈して慰問に参りました。



クラブ運営に積極参加を

ライオンズクラブの運営について、いつも耳にするとは、「如何にして楽しい例会にするか」と云う言葉である。

どんなに、クラブ会長、幹事、ライオンテーマー、テールツイスターが努力しても、参加する全会員にその意志が無ければ楽しい例会にはならないと思う。

会員全員が積極的にクラブ運営に参画し協力する意志を持つことが先決だと思う。誰かが楽しい例会にしてくれるだろうと期待してもそれは無理だと思う。亦これこ

3R・3Z・ZC L. 高品 和夫 (市原南LC)

そ例会の模範だと言う決定的なものは存在しないと思う。

クラブ員各自が今日の例会には私の考えも入っている、或は次の例会には私の考えを入れて貰えると言う期待があって始めて例会に出席する楽しさが生じてくると思う。

要は自分自らがクラブの運営またはアクティビティに積極的に参加してゆく、それが必要であると思う。誰かがやってくれる、私一人くらいはと思う気持ちを捨ててかかることが第1歩だと思う。

実践的会報づくりの話

L. 石川 忠正 (千葉エコーLC)

9月10日(火)、わが千葉エコーLC 9月第2例会で、当夜、公式訪問で見えられたR・C L. 森野銀一郎、

Z・C L. 高品和夫、地区LS委員長L. 村田増雄とともに出席されていた3R・PR情報委員L. 鹿野國彦

(千葉ポートLS)に、例会終了直後呼び止められました。

地区ニュースへ“会報づくりについて”何か書いてほしいとのことでした。

当クラブの会報「ECHO」は、年次大会で何回も最優秀賞をいただいています、多分それを知ってのご注文と察し、即座にお引受けしました。とは申しまして、決して自信があってOKした訳ではございません。

L. 鹿野と同様、私もクラブのPR情報委員の立場で、毎月のようにいろいろな方に原稿依頼を致します。自らも書きますが、お願いした原稿がちゃんと届けられたときの嬉しさは格別なものです。それで何はともあれ気持ちよく引受けた次第です。どうにかなるだろうと。こう言うのを安請け合いと言いますが。

クラブによっては、委員会が十分に論議して編集方針、内容、取材や執筆の分担などを決めて進めておられるところもありだろうと思います。

ECHOではほとんど議論はしません。PR情報委員長一任のかたちで、自由気儘にやらせていただいております。

各クラブ、どちら様も姉妹クラブや友好クラブと会報の交換をなさっていると思います。

会報づくりについては、そうしたそれぞれの個性の出したクラブ誌が、そのまま生きた教材になるのではないのでしょうか。

立場上もありますが、私はそんな観点で他クラブの会報を拝見しております。

いま私は机上にいくつか、他クラブの会報を並べています。

千葉市内の先輩、千葉中央LCの「千葉中央獅子倶楽部」8月号、通巻77号(B5・4ページ)。典雅な書体の題字が個性的です。本号もいつものように絵画で表紙がつくられています。画は会員L. 武内和夫の作「朝のセーヌ」です。モノクロですが、表紙そのものが一つの芸術作品になっています。

内容は、年度替りとあって新三役の就任挨拶を中心にした編集です。それに当期役員のリスト、委員会組織表、地区キャビネット構成員の紹介など。

前月の例会の記録として出席率、ドネーション、ゲストスピーチをなさった方のスナップ、各種顕賞、ACTなどが、こまごまとかつ要領よくまとめられています。

いつもながら折目正しく、上品な感じを受ける立派な会報です。

つぎは同じく千葉市内の友好クラブ、千葉若潮LCの「若潮」7月号、113号(B5・4ページ)

誰方か、おそらく著名な方の書と思われますが、題字“若潮”の文字が見事です。墨痕あざやかな題字を波をデザインしたネイビイブルーの枠で囲み、すっきりとした美しい表紙です。

題字のすぐ下に、例会レポートとして出席率、ドネーション、ファイン、オークションなど、数字のみ簡潔に掲げてあります。

年度替りとあって、やはり新三役の就任挨拶を、例会場での写真を添えて主要な記事にしています。つづいて新役員のリスト、委員会構成、クラブの年間行事予定表など。

つぎの8枚のスナップ写真を主体にまとめた納涼例会の記事が、とても生き生きとしていて、嬉しく家族的な雰囲気を出しています。

末尾は“喜寿を迎えて”と題したL. 山中右一の短いエッセイで締めくくっています。

クラブ活動の八方によく気配りをし、まめに取材をされている編集委員の方々の心のこもった仕事ぶりがよく分かります。

実に暖かい感じのするしかも一本芯の通った編集です。もう一誌紹介させていただきます。

仙台エコーLCの「仙台エコーLC」8月号、99号(B5・6ページ)

誌面三分の一を占める題字、残る三分の二いっぱい大きな写真、そして裾の方に会長や地区ガバナーなどの



We Serve

当年度スローガンを入れた表紙です。

表紙の写真は30人余りの集合写真です。虫籠や補虫網を持ったお子さんと奥様方、一見家族ぐるみの親睦旅行と分ります。肝心のメンバー諸氏が居ませんが、同時刻、こちらの方は親睦ゴルフコンペの最中であることが、あとの記事で分りました。

家族サービスを強調し、ゴルフコンペの写真は末尾の

方に小さく載せたのは、流石編集マンの見識でしょうか。

旅行会とゴルフのレポート、そのスナップ写真5、6枚で、中の誌面を大きく飾っています。この外には、新会員の自己紹介2名、ゲストスピーチの要員、コラム、



ECHO

CHIBA ECHO LIONS CLUB

月刊 第194号

平成3年9月10日

発行 千葉エコー
ライオンズクラブ
PR情報委員会
発行人 石川 忠 正
印刷 印みつね印刷社

例会日 毎月第2・第4(火)

高速道路を“納涼例会”が走る 六本木、新宿の夜に青春懷古



車中、計画委員長高岩正美氏がまず参加者の点呼をとる。

親睦委員長石田六郎氏、計画委員長高岩正美氏の肝入りで今夏は少々変わった趣向の納涼例会が企画実行された。

8月27日の8月第二例会である。

お楽しみのお目当ては六本木、そして新宿で、そこへ赴く途中のバス車中が例会会場という舞台設定。

冷えたビール、おつまみ、ジュースなどお世話役が手際よく積み込んだ特別仕立のバスに本日出席のメンバーが次々に乗り込む。遅れた人は後から電車でと言ひ残し、バスは、定刻15時50分、京成ホテル前を出発した。舗装道路に夏陽が照り映えるが、街路樹の緑になぐさめられながら市街を抜けて、まもなく高速へ乗る。

本間幹事が都合で六本木へ先行しているとかで、高岩計画委員長が参加者の点呼をとったり、計画を説明したり、ひとりテントコ舞いの状況である。

司会役田中瑞玄副幹事が例会開会を告げ、三川氏の会長挨拶、高岩計画委員長の挨拶、そして田中副幹事が幹事報告を行う。予定だと本日の出席者は25名だが、遅刻、現地直行が数名いるもようだ。ゴングこそ鳴らなかったが、ルール通り例会終了。

さしたる渋滞もなくバスは順調に進行し、17時そこそこの東京駅丸の内側に到着した。はとバス発車までの40分ほど、喫茶店で休息する人、あるいは東京へはめったに来ないからと宮城のお濠の方へ散策を試みる人など、さまざまなかたちで時間を活用する。やがてはとバス出発である。

いくつかある夜の定期観光コースから選んだのが「六本木、新宿ライブナイト」というコース。

第一ポイントは東京六本木パークビルズ・全日空ホテル。

佐藤剛巳氏、本間氏、岩立氏ら直行組も加わって同伴者を含

め32名が勢揃い。フランス料理の「ル・パティオ」で思い思いに席に着き、早速ワインで乾杯、高級ホテルのムードに浸りつつ料理をたのしむ。メインは何かか鯉で、しかし文句なく美味い。焼酎が無いと不満気な人もいたが、酒は次のポイントでと第2ラウンドへ向う。外へ出ると六本木の夜が始まっていて、街はきらびやかなネオンの海である。

第2ポイントは新宿・歌舞伎町はクラブ・ロータリーである。例会のお知らせにあるとおり、やはり18才未満入場お断りの街である。

1メートル80以上というダンサーが振り上げる脚に目を見張る。レベルの高いダンスのグループと、素人とあまり変らないグループの二組が、かわるがわる演ずるショーに、1時間はあっという間に過ぎて了った。さきに飲み足りなかった人は、ここで十分にノドをいやしたようだ。

食事とショーを活字で追いかけるのは愚の骨張、参加しなかった方々は、機会をみて行って見て下さい。ショーの終わった21時に、われわれも一応打上げとする。夜の楽しみはこれからという新宿のネオンに後ろ髪を引かれる思い(の方も居られたと思う)で、帰りのバスに乗る。

独断と偏見でと謙遜しながら「たまに、千葉を離れて刺激の大きい東京の空気に触れることもあってよろしいのでは」と高岩氏が、計画した動機を語っておられたが、また、「みなさん、いいお年になられたが、ネオンの街に触れて、若かりし頃、元気に活動をしていた青春時代を思い出された方もいらっしゃるでしょう」とも語った。連立って歌舞伎町を歩く人々の中から新宿は学生時代に足繁く通った街でーなどという昔を懐かしむ会話も聞えた。

22時を少し回った頃、バスは六本木インターから千葉市街に入り



ル・パティオで、いい料理とワインで。石田親睦委員長と中村喜之助氏

り、最後に石田親睦委員長が、一切のきりもりの労をとった高岩氏のお骨折に謝意を表し、メの挨拶をして、動く納涼例会は三、五、五、無事散会となった。



We Serve

台北姉妹クラブへの訪問レポート、59才でパンパレフィックマスターズ水泳選手権に出て活躍したメンバーのレポート、いずれも写真で潤いを添えた記事が豊かに盛り込まれています。

クラブ運営の記事としては、会合の種別、日時、場所、出席者などが事務的に記録されています。

長年拝見していますが、クラブ活動を非常に丁寧に伝える努力をされており、とくにファミリーにまでよく目の届いた情愛こまやかな編集ぶりで、仙台エコー誌にはいつも敬意を表しているところでございます。

何をどのように取上げるかについては、毎号各方面から多数頂戴する会報が、何よりも実践的に教えてくれるように思います。

他クラブの優れた個性豊かな会報に刺激を受けながら、ペンとカメラを持って、ごく自然体でクラブに溶け込み、メンバーとともに行動しておりますと、自然にその月の

会報が出き上がる、これが私の理想です。

ところで千葉エコーLCでは、会報づくりにとって特別なLが居ります。第21代会長をつとめたL・尾形祇文（みつわ軽印刷社社長）です。

毎号、私が雑駁に揃えた原稿を、それも〆切ぎりぎりに出したものを整理し、誌面のレイアウトをし、時宣を得た編集後記で締めて、工場で最優先に取扱ってもらっています。

発行日と定めた第1例会の当日、いままで一度も遅れたり欠けたりしたことがございません。

終りに、何事もそうですが、会報づくりにつきましても当然基本理念がございます。

会報づくりを仰せつかって3、4年頃からそれが少し見えてくるようになりました。

それはまたクラブ活動の基本理念と同じです。すなわち We Serve です。

台湾（的）詩人との交流（パート2）

詩人 高橋 惣司（東庄LC）

沙白氏との再会

前号では「台湾的」の『的』についての語義に触れたが、今回はその台湾的詩人たちとの交流について語ることしよう。

日本詩人団の一行は6月14日に高雄に着き、市内や周辺の観光地をバスで巡った。澄清湖や寿山公園が特に心に残ったが寿山公園で見かけた高雄ライオンズクラブ寄贈の「健康道路」がアイデアに富んだものであり大変参考になった。

夜8時ジャスト、ホテル「華園大飯店」に沙白（サーバイ）氏一行が尋ねて来た。氏とは昨年の11月『世界詩人会議』でお会いして以来である。この折氏から頂いた高雄市を中心とする「大海洋」という詩誌に

「台湾的」という文字を見出したのが最初である。

沙白氏等一行と、高級茶房で真夜中まで語り明かした別れ際、若手美女詩人の揚秀明（ヤオ・シュウメイ）が何度もわたしの手を握り、「来年もぜひ尋ねて来て……。」と哀願するような瞳で訴えて来たのが印象的であった。

（よし！来年も、行くぞ……）

台南市へ

安平古堡（アンピンクーバオ）は台南市の西方に位置するオランダ人の築いた城址で、彼等が台湾支配の橋頭堡とした所である。ガジュマロの根が複雑にからみついた白い城壁と、ゼーランジャ城の本丸と櫓の二門の大砲

が、いかにも時代がかっていて今では侵略者の歴史そのものを風化させていた。

ここは、林宗源（りんそうげん）氏親子が案内して下さったが氏の御子息は日本の立教大学を卒業され、現在台北市の資生堂に勤務されているとのことであった。



台南市は日本の古都「奈良市」を連想させるが、ここでは安平古堡の他にも赤嵌楼（チーカンロウ……オランダ人が築き、当時はプロビテンジャ城と言ったが鄭成功が奪還し「承天府」と改め政庁とした）や大天后宮など多くの古刹を見学した。

市内見学後、台南随一のレストラン「楓林」で大歓待を受け、白昼から「乾杯」の嵐の中で身も心も酔い痴れた。

陳先生御夫妻の歓迎

酔いもまだ醒めやらぬ午後2時半、再びバスの人となったが、台中への途次、北港（ベイカン）という町の「朝天宮」に立ち寄った。ここは台南と台中のちょうど中間にある嘉義市の西方22キロの海岸近くにある。

大正の初期、河井醉明らと並ぶ詩人の伊良子清白（いらせいはく）がここを訪れている。彼は明治の末年から大正7年まで、医師として台湾に赴任していたとのことだが、その先輩詩人を偲んで山門をバックに記念写真を撮った。

「朝天宮」の門前町も賑やかで有名だが、この寺院の屋根にはただ驚くばかり。人・馬・物・草木・建物・山・川・雲・など、ありとあらゆる存在や事象がところ狭しと飾り立ててある。まさに仰天とはこのことであろう。

夕刻、バスは台中のホテルに到着した。台湾ペンクラブ会長の陳先生と奥様の出迎えを受ける。久闊を叙し、それぞれの部屋で休憩後、ホテルを出て、台中料理の老舗「知心園」に向う。この席は全て陳先生のおごりである。例によって、「乾杯」「乾杯」の雄叫びはいつ果てるともなく続く。

日月潭のメインイベントは次号で……。





We Serve

春夏秋冬

車について

2R PR情報委員

L. 桜井 留治 (船橋京葉LC)

「土・日ドライバーなら年間 10,000 キロ走れるかどうか。ガソリンの値段が上がった、下がったと騒いだって大したことじゃないか」と車大好き人間の友人の覚めた声* いわれるまでも無く、小筆子のような車はリッター10キロ走り、年間せいぜい5,000キロ程度の走行。となるとガソリンが10円値上がりすると年間5,000円の余分な出費。月にすると500円にもならない額だから、いわれてみれば納得してしまうとは思っても、つつい燃費にこだわるのも小市民の性(さが)。ガソリン消費が少なければ、それにこしたことはない。そんなユーザーの気持ちからすると、最近登場しているリーンバーン(希薄燃焼方式)の低燃費エンジン搭載の車は実に魅力的な響きをもっている。早速、メーカーに聞き合わせてみたが、不思議なことに同方式のエンジンを搭載した車はすべてMT。つまり手動式のトランスミッションタイプであった。すでに乗用車の70%以上を占めるようになっているATタイプが見当たらないのである。メーカーに寄ると「子のエンジン搭載車は燃費にこだわるユーザー向けのものも。燃費を追求するとやはりMT, ATだとせっかくの『こだわり』が生かせない」そうで、ATYタイプは次のステップとのこと。是非期待したいが、それにしても低燃費の車を望んでいるのはごく一般の市民ユーザー。せっかくの世界に先駆けた技術のお披露目が一部のマニアチックな心をターゲットにしたのは実に惜しい話である。

老いの手

佐藤 翰史 (習志野LC)

日本中で人々の高令化が進む中、我々ライオンズクラブの構成メンバーも御多聞に洩れず、年々「かれた」メンバーが多くなり、クラブ平均年令上昇に、全員で多いに貢献して居ります。

木が、「枯れる」という事は、古くなって水気が無くカサカサ、ボキボキ折れやすく、新芽、青葉の躍動が無くなる「ダメージ」の象徴ですが、人の「かれる」は、無我無欲、青臭くない粋な大人のイメージにも取れるので奉仕をモットーにするライオンズマンには、ピッタリの言葉かもしれません。……?

しかし、やっぱり、木と同じに、枯れが進んだあとと言う感触も、メンバーから感じとる一瞬があります。それは、クラブ会員最後の時間「また会う日まで」を歌う、円陣で手を繋ぐ時であります。若い人だとシットリ柔らかく、特に若い女性だと尚さらに……粋な大人だと、カサカサと厚固く感じる手の感触なのであります。「手は、顔程に物を言う」のたとえのごとく?……他人を何んとか人口的工夫でごまかしのきく、顔等の身体の部分と異なりどうしても、老いのごまかしがきかないのが手の部分なのであります。整形手術で手のシワを取って、シットリ艶やかな手を見せる事は絶対不可能な事なのであります。

本当の老いのおしゃれは、身体のおちこちのおしゃれに、酷使される手そのもののおしゃれに気使いたいものです。しからば、手を老いから守る方法とは言えば?毎日夫妻で互いに手を取り合って、マッサージ仕合い、ボデーコミュニケーションを大いに取り合う事です。それに依って、老けたりと言えども、何か好ましい感じや感触を得られれば、手だけでなく総べての老いの防止に役立つかもしれません。昔から言うではありませんか。「老いは気から」と・・・?

Y E 派 遣 生 手 記

松戸中央ライオンズクラブ

IN-7 和田 憲明

憲明よ / NORIEよ /

僕は7月17日～8月29日の43日間アメリカのインディアナ州に行かせていただきました。まだ17才という若い時期に外国に行かせていただいたことに感謝します。

向こうでの経験はこれからの人生の中で大きな糧となるに違いない。帰国してたくさんの体験話をするがまだまだすべて吐き出していない。これからもたくさん話をする機会があると思うが、すべては吐き出し切れなと思う。吐き出し切れず心の中にあるものはどんなにうまく説明してもちゃんと相手には伝わらないものだ。それは僕が直接行って肌で感じとったものであり、相手は感じとってないからだ。これが僕の一生の財産だ。

今回僕は1つのことだけを書く。

僕のホスト家庭にマークという16才の男の子がいた。彼はとてもスポーツマンで、フットボールや野球やバス

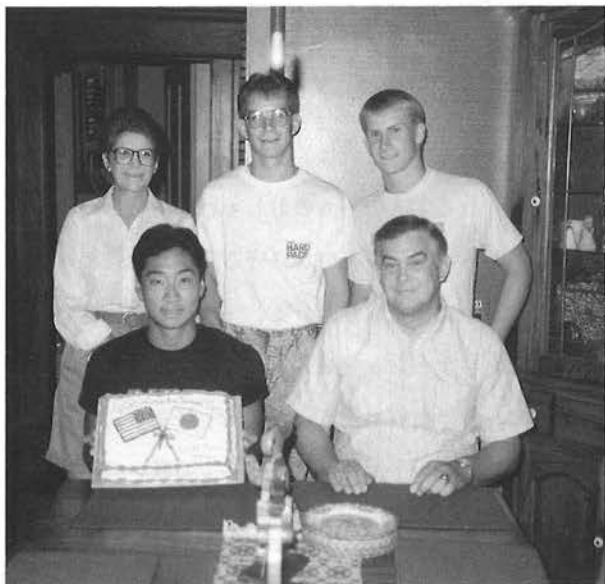
ケットボールをしていた。僕もスポーツは大好きなので一緒にスポーツを楽しんでいた。

そんなある日、そろそろマークのハイスクールのフットボールの練習が始まるということで、体を馴すため、マークが校庭で走ろうと言ってきた。僕も走るの嫌いではないので一緒に走ることにした。しかし、その日は100フィート（約40度）を越す暑さでアメリカ生活で疲れが出たせいか、精神的にも、肉体的にもかなりまいっていた。

炎天下の中、トラックを2周した程度で、気分が悪くなり吐いてしまった。それから僕はマークに訳を言い、家に帰ることになった。

家に帰るとすっかり気分が良くなって用意してあった食事をいつものようにガツガツ食べ出した。すると前にいたマークが皮肉っぽい口調で言った。「ヘイ、ノリーあんまりガツガツ食うとまた吐くぜ。」さっきまでの友好的な態度とはガラリと変わっていた。頭にカチンときた僕はマークの顔をにらんだ。マークは嘲笑をうかべている。僕は思った。「アメリカ人は肉体的タフさを最も尊敬するというのを聞いてはいたが、これは本当だ。こりゃなめられたらこれから数週間おしまいだ。」その夜再び僕は考えた。「明日の朝から毎日トレーニングを始めるぞ。マークの奴見てろよ、お前には負けないぜ！」その次の日から僕はトレーニングを始めた。ときにはハイスクールまでの道順を間違えて2時間近くアップダウンの道を走り続けたこともあった。

この事件の後からは僕はうって変わった。“必ず勝つ”というのをつねに頭の中に置いていた。マークとのとくみ合いでは絶対負けなかったし、生まれて初めてやったテニスでは1度目は負けても2、3度目は決して負けなかった。学校に行けばつねに人気者であったし、僕が学校で入っていたフットボール部の連中の間でもそうだった。





We Serve

た。家に遊びに来た人の前でギターを弾けと言われれば思いきり大暴れをした。

こうしてマークはしだいに僕を尊敬するようになってきた。このことは態度や接し方ですぐわかるものだ。これらのことは一見、自慢をしているように思われるが決してそうではない。アメリカではこれは“強さ”の象徴なのだ。そしてそのタフさは証明されなければならない。謙虚さや沈黙は理解されないし、へりくだった態度や言葉はそのまま額面通りに受けとられてしまう。ここでは日本人の考えなど通用しない。最善を尽くして負けたのだから仕方がないなどという言葉はアメリカ人には通じない。結果がすべてなのである。そしてその結果とは勝つことだ。勝利者は限りなく神に近い英雄であり、負け犬はクズとして扱われる。このことはこの間の湾岸戦争でもわかることだ。どうしてあんなにもブッシュの支持率が90%以上もいったのか。シュワルツコフがどうしてあんなに英雄としてあがめられたかがすぐわかる。彼らがたとえ10万人ものイラク人を殺しているとしてもだ。アメリカ人にとって勝利者は絶対に清く正しいのだ。

アメリカでの成功の秘訣は、勝負となったらなにがなんでも勝つこと、この“真実”をいち早く悟ったことはこれからの人生の中で大きなプラスをもたらしてくれるだろう。

今回、このホームステイで体験したことは山ほどある。色々な所に行き、色々なものを食べ、色々なものを見た。どれも生まれて初めて経験するものばかりですばらしかった。しかし、これだけではただの“観光”だ。向こうで1番得たものは“考え方”だった。たった1回外国に行っただけで向こうの文化を理解したというつもりはないが、この“考え方”の違いがわかり、アメリカ人の良い所、悪い所、日本人の良い所、悪い所を見つけ、自分なりに考えて把握できたことはうれしいことだ。

僕は今回、たった一つのことしか書かなかった。理由は3つある。1つ目はこのことはこれからの一生を左右

するものであると思うから。2つ目は来年の派遣生にこのことを教訓に、覚えておいてほしいから。3つ目は、みんな同じような文じゃつまらないからだ。僕は型にはまっている優等生の文よりも、わけのわからない文でもいい、個性の強い文を書く。向こうの人の個人個人の個性の強さを派遣生の誰も見えて来たはずだ。僕は自分のアイデンティティーの確立の為、これからも個性を大切にしていこうつもりだ。僕の行って来た所は他の派遣生が説明しているような所だと思う。ホストファミリーもとても暖かな人達だった。僕が向こうの説明を長々と書くよりも、こういう文を書いた方がホストファミリーもフットボールの連中もみんなきっと喜ぶだろう。彼らならわかってくれる。

僕は今回のアメリカ生活を生かし“大物”めざしてこれからも歩もうと思う。“現在に満足し切っている者に未来はない”これは向こうで知り、感動を受けたロバート・ケネディーの言葉だ。僕はこのことを思い、最後にこう叫びたい。

憲明よ、NORIEよ、これで終りではなくこれが始まりだ。大物目ざして世界へ羽ばたけ！！

今回、この機会をあたえて下さったライオンズクラブの方々、そして僕の視野を世界へと大きく広げて下さった方々に本当に感謝します。どうもありがとうございます。

帰国報告

鈴木 睦子

この夏の6週間のアメリカ生活は、文章にするのが非常に困難なほど、私にとってかけがえのない思い出となりました。ですから今は、ライオンズクラブの皆様やホストファミリー、私の両親など、この体験をさせてくれた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

思い返してみれば、数々の楽しかった思い出と、知合った友人達の笑顔がうかんできます。たくさんの方所へ連れて行って頂き、またチャレンジしました。しかし

約40日間の生活で一番うれしかったことは、やはりあちらの人々と心が触れ合えたことです。

アメリカ人の親しみやすさには、本当に驚かされました。私は初め、少し緊張していたのですが、彼らがあまりにも親しげに、また易しい表現を使って笑い話をしてくれたり、日本語を覚えようとしてくれたりするので、すぐにうちとけることができました。それは第一、第二ホストと共に同様で、私は知り合った人すべてを好きになれました。あちらで生活している間、とても幸せだったと思います。そしてまた、素直で人間らしい生活を送れた気がします。本当に不思議なのですが、あちらの方々といくと自然に純粋な気持ちになれてしまうのです。これは恐らく、日本にいては体験できないでしょう。

日本へ帰った今でも、彼らと手紙のやりとりが続いています。私を家族だと言ってくれるカリフォルニアのみんなに、再び会いに行きたいです。その日のためにも、

英語力をもっと向上させたいと思うようになりました。

私は一生、この高校時代の貴重な体験を忘れません。そしてもっと多くの人々にこのようなすばらし体験をしてもらいたいです。ですからこのプログラムをずっと続けていただきたいと思います。



Y E 受 入 生 手 記

EJ-4 Matthew Painter

私は先ず日本に行けるよう配慮していただいたライオンズクラブに対し感謝申しあげてから、報告を始めたいと思います。御骨折りをいただいたお陰で、日本において大歓迎を受け、素晴らしい時を過ごすことができました。

特に第1ホスト家庭となった正木さんと第2ホスト家庭となった飯田さんに心から御礼申し上げます。両家庭とも家族の一員として実によくお世話をさせていただきました。私のために準備された日程は大へん良くできていたと申し上げます。短い時間でしたが、日本についてたくさんのことを知らせてくれました。それは忙しい日程でしたが、大へん面白く私にとって素晴らしい体験となりました。

私は、日本に滞在していた間の体験について、ざっと述べてみたいと思います。

私は7月28日に成田空港に到着し、ホストファミリーとライオンズクラブの方々の温かい歓迎を受けました。私たちはそこから正木さんの家に行き、そこで全部の家族に紹介され大いに歓迎され、しばらく寛ぎました。

第1日目は君津市内を見て歩き、東京湾横断橋の建設現場を見ました。私たちは東京ディズニーランドに行き、大いに遊びました。私は常々ディズニーランドに行きたいと思っておりまして、非常に嬉しく感じました。これは本当に楽しい旅行で、珍しい眺めもたくさん見ました。

東京へ行ったのもよい体験でした。東京は偉大であり、東京タワーからの眺めはとても美しく、雨がやってくる



We Serve

まで見ていました。また警視庁を訪問すると言うのも、どんなに嬉しかったかわかりません。と言うのも、私は将来この方面に進みたいと思っていたからです。

富士山に登ったことは長く私の記憶に残ることと思います。登山は大へん苦しかったが、楽しくもありました。富士山頂から眺める日の出は非常に素晴らしく、とてもよい経験でした。

YEのキャンプも大へん為になりました。世界各国から集まったたくさんの若者たちと会うことができ、大へん嬉しく思いました。キャンプでの行楽や行事は全部適切でしたが、それを準備する仕事のためYE委員の方々は、大へんな努力と時間をかけたのに違いないと思いました。各国の若者たちとこのキャンプで仲良しになり、楽しく過ごすことができました。

YEのキャンプの数日後、新日本製鉄君津工場と東京電力を見学できたことは本当に幸せでした。どちらの工場も、私が学校でその製造行程を勉強しているものの実際には見たこともなかったので大へん役立ち、よい勉強となりました。

私たちは東京湾一周のクルーズを楽しみ、また横浜のベイブリッジや東京までかかる建設中の橋も見に行きました。

君津ライオンズクラブの例会訪問は大へん興味がありましたが、英国のクラブ例会とずい分違ったものでした。そこで私は大そう歓迎され贈り物までいただきありがとうございました。

君津で楽しい日々を送ったのち、鎌ヶ谷の第2ホストの飯田さんの家へ移る時がやって来ました。この家は一層西洋的でベッドでした。他の全部の日本人と同様、飯田さんのところでも大歓迎を受けました。

九州へ列車で6日間の旅行をしました。列車の旅は26時間続きましたが、その間私は日本の鉄道について勉強し、列車に乗って旅行している多くの日本人を観察することができました。

九州に着いてから多くの日本人の方々にお会いすると

ともに各名所を見物し、大へん良い体験をしました。

私たちは阿蘇山に行き、活火山を見て大へん面白く思いました。阿蘇山博物館を見て歩きましたが、阿蘇山がいかに形成されているか説明されていてとても勉強になりました。家に帰る途中京都に立ち寄り、最も大きなお寺をいくつか参観しました。

また私たちは鎌ヶ谷ライオンズクラブの方と船で横浜まで行き、中華街で食事をしました。ここでも皆さんが双手をあげて私を歓迎してくれたのです。

日本訪問は私にたくさんのことを教えてくれました。日本で生活するのは私の国と全く異なった文化、違った生活様式であるため、非常に為になる体験をしてきました。日本の食べ物には、興味があつたし、両ホスト家庭とも非常に立派な食事を食べさせてくれました。

お刺身は好きになれませんでしたので、それが食べられるようになるには、日数を要することでしょう。ただ、私の日本語が上達しなかったことが唯一の残念な事だったと思います。皆さんは英語がとてもうまく、コミュニケーションに役立ちました。

最後に、私は私が日本に滞在している間、私のお世話をしていただいた全部の皆様に対し心から感謝申し上げます。

日本訪問は私の一生で最も素晴らしい旅行で、私の心にいつまでも残っていることと思います。

どうもありがとうございました。皆様の御健勝をお祈りします。



所 感

GJ-2 Julia Altmann

さて、私は今日本に旅行したことについて報告を書き上げなければならないが、どこから始めどこで終えてよいかわからない。私のホストファミリーは思ったことを書けばよいと言っている。よし、どうしようか。もしすべてのことを書くとすれば100頁一ぱいになるかもしれない。そこで私は私が好きでなかったことや理解できなかったことを書くことに決めました。その方が皆様の興味を引くと思います。

私が気がついた第1のことは、日本の道路が非常に狭く、人々が生活していくのに大へん危険なことです。車を運転する大部分の日本人は、歩行者に注意しないので、歩行者は身をかかわすことができにくい。また私は配電設備が地上であるのに大へん驚いています。それは大へん危険であり、また都市の美観を害しています。

第2のことは、日本の大都市に緑が少ないことです。町には樹木や花がなく、どこもかも汚い感じがする。私は誰もこのことに気がつかないのが不思議でならない。私は木が恋しくてならない。何人かの人に尋ねたとき、そんなことを考えたことはないというのが大部分の答えでした。一般の人は自分の家だけ気をつけていると言っているが、私には信じられないほど粗末な家をたくさん見えています。

次は産業公害のことです。このことは日本にとって重大な問題と思われます。私は空気が煙で汚染され、周囲のすべてが汚れている工場の近くにどうして住めるのかわからない。

また、船や車や工場から出る排気で、海の水平線が黄色いボールで覆われています。私は早く公害をなくさないと最早住むことができないと思います。

あと包装の問題があります。どこのお店にいても紙やプラスチックで包装し、大きな包みにしてくれます。例えば、あなたが手のひらの大きさの物を買いたいとき、

あなたの身体がかくれてしまうほど大きな荷物になってしまいます。そんな浪費に対しあなたはどうしますか？それを燃やしますか。それともどこかへ捨てますか？それでいいとは思えないでしょう。

第5番目の問題はあなた方のマナーと食事のことです。私は人の悪口を言ったり、やかましく食事をするのが好きではありませんが、理解することはできます。しかしまだ心臓が動いている生きた魚を食べるのは残酷に思います。あなた方には同意をえられないでしょうし、またすべての動物がこのようにしていると言うことでしょう。私はこの動物の運命だけを見ることができます。まだ生きていうちに食べられることを喜びますか？

第6は、日本における興奮的雰囲気にあります。どなたも話をする時間もないほど忙しいので、私もいつも忙しい目にありました。私の行った所をたくさん写真に撮りましたが、私がドイツに帰ったとき、日本はどんな所だとわかるだけで、個々の写真については訳がわかりません。「何と美しい所だろう。しかし不幸にもここは一体どこだろう。このビルはどこのビルだろうと私にはわ





We Serve

かりません。」私は日本人は少し浅薄ではないかと思っている。

ところで、私は日本人のように電子製品に熱中している国民を知らない。誰もがカメラを持っているし、どこの家でも高価なテレビやステレオ装置などがあります。見ることは面白いでしょうが、電力が停止している間は何をしているのでしょうか？

最後の問題は富める者と貧しい者との差が日本では大きいということです。もちろん、世界中には富める者と貧しい者とがあります。しかし、日本人の富める人はその富を人に見せびらかし、自分が一番だと思ひこんでいます。私が貧しい人々はそんなことに無頓着であることがわかりました。そして私にはとてもそんなことはできません。私はあなた方がもう少しこのことに配慮したらよいと思います。

以上が私の感想の一部であります。これらの点はもちろん攻撃や告発の意味があるわけではありません。しかし私が書いたことについて、考えてみてほしいと思います。

編集後記

地区ニュース第3号をお届けします。千葉幕張メッセLCが誕生したのは、誠に喜ばしいニュースでした。L村上睦郎（習志野LC）には公務多忙の中で、「千葉県の現状と将来」について、執筆をいただきました。

10月8日のライオンズデーは生憎雨降りで、延期になったACTもありましたが、各クラブの活動を出来るだけ記載するようにしました。ライオネスクラブの活動状況についても多くの原稿をいただきました。

YE生の手記も今号から取り上げましたが、多くの原稿の中からユニークなものを掲載しました。ライオンズ以外の題材についても幅広く掲載して行く方針ですので、皆様の御投稿を歓迎します。

L. 蒔田 辰男

物故会員（8月～9月）
謹んで御冥福をお祈り致します。

鋸 南 LC 故L. 戸倉 稔 (1991年8月28日死去)

印 南 LC 故L. 酒井利明 (1991年9月5日死去)

下総中山 LC 故L. 湯浅 巖 (1991年9月19日死去)



技術と信頼をもつとくに

創業**75**年の総合建設

田久保建設株式会社

取締役社長 田久保 良 作

〒275 千葉県習志野市谷津4-2-19

TEL 0474 (52) 0611 (代)

FAX 0474 (52) 0613

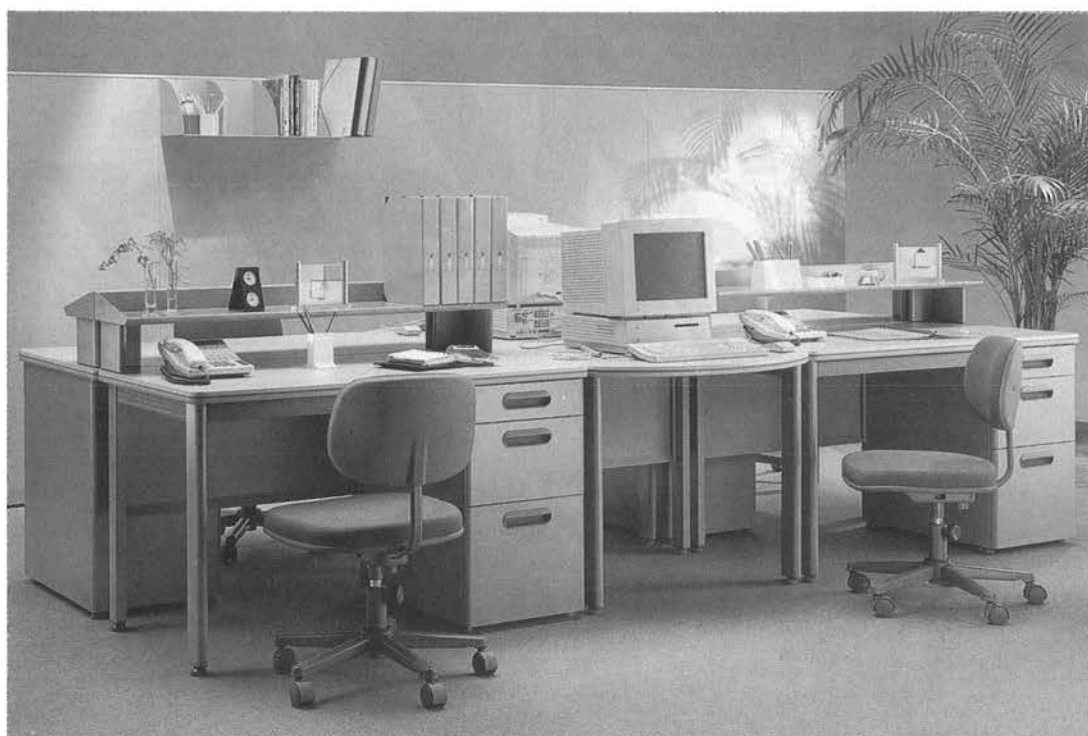
Big News!

スーパー定期
11月5日新登場!!

成田信用金庫

300万円以上まとまった資金には、
この秋新たにデビューする「スーパー定期」が断然おトク。
自由金利だから、
大切な資金運用で他を一步リードします。

オフィスづくりのパートナー



オフィス家具・OA機器・事務用品



株式会社 **三ツツ堂**

代表取締役 鈴木 榮

本 社	習志野市大久保 2-4-5	電 話 0474-72-6155
船 橋 営 業 所	船橋市高瀬町 62-2 (卸団地)	電 話 0474-35-0201
佐 倉 営 業 所	佐倉市城 188-28	電 話 0434-86-5521
大 久 保 店	習志野市大久保 1-28-8	電 話 0474-73-1450
秋 津 店	習志野市秋津 3-6-1 (ビバ 50)	電 話 0474-51-7713
株式会社幕張ビジネスセンター千葉市中瀬 1-3 幕張テクノガーデン B 2 F		
		電 話 0472-96-2789